

交通安全は一人ひとりの心がけと、地域・家族の声がけから

交通安全ワンポイント 4

夜間の事故に注意！ 自動車・歩行者それぞれの対策を

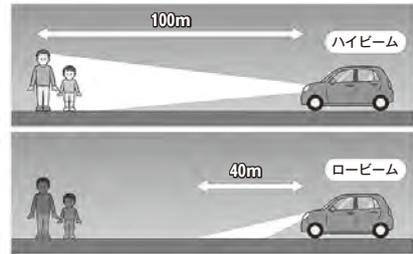


平成29年中に山形県内で発生した歩行者が関係する死亡交通事故のうち16件は夜間に発生しています。そのうち13件の事故では自動車のヘッドライトがロービーム（下向き）の状態が発生、10件の事故では反射材非着用の歩行者が犠牲になっています。

夜間の運転はハイビームを基本に、歩行者はピカピカ光る反射材を着用しましょう。

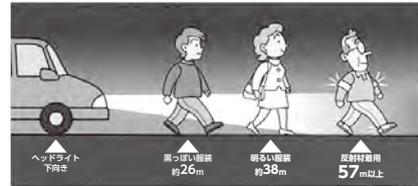
自動車は▶早めにライト点灯、ハイビームを基本に

- ・夕暮れ時は目が暗さの変化に慣れず、歩行者の発見が遅れて事故が発生しやすくなります。薄暗くなり始めたら早めにライトを点灯して視界を確保し、周囲に自分の車の存在を知らせましょう。
- ・ロービーム（下向き）の照射距離は40メートルほどですが、ハイビーム（上向き）にすれば2倍以上先まで見え、早めに歩行者の存在に気づくことができます。夜間の運転はハイビームを基本として対向車の有無など状況に応じてこまめに切り替えながら運転しましょう。



歩行者は▶明るい服装、反射材やライトの利用を

- ・反射材やライトを活用して早めに自分の存在を知らせましょう。反射材と明るい服装を併せることで、反射材非着用の黒っぽい服装の歩行者と比べて、ドライバーから見て2倍以上手前で発見できるようになります。



交通安全指導員を紹介します

大石田町では4名の交通安全指導員の皆さんが、街角に立ち子供たちの通学を見守っています。雨の日も雪の日も、毎朝見守り活動を行っている4人の指導員をシリーズで紹介します。



伊藤恵美さん

唯一の女性の指導員である伊藤さん、子どもたちに笑顔で接することを心がけて活動されています。「雨の日や寒い冬も元気に登校してもらいたいと笑顔で送り出しています。子どもたちから大きな声であいさつが返ってきたり、スクールバスの子たちも元気に手を振ってくれてこちらもうれしい気持ちになります。」と話されていました。



いよいよ桜の季節です。去年町内では、咲く前に鳥に食べられてしまったりしてボリューム少な目、ちょっと寂しい感じがしましたので、今年の花が楽しみです。

さて、今年度も引き続き広報担当ということで、新しく国語辞典を購入しました。これまでポケットサイズの日用辞典を使っていたのですが、説明は10文字程度、項目も2万足らずというもので、簡潔な説明は気に入っていたのですが物足りなさもあり、ちょっと古いのも気になるところでした。最近では、分からない言葉があると安易にインターネットで調べてしまいがちですが、ネット上には言葉の誤用がさも正しい使い方のように書かれていたり、またその逆もあつたりしてあてになりません。普段から辞書を引いて、言葉の使い方をもう少し磨いてきたいと思っています。

とところで、辞書をめくっていると、ごくたまに挿絵がありますが、あれってどういう基準で載せているのか気になります。

(あ)

楽がき帳

町の人口 平成30年4月1日現在

世帯数	2,354戸	(+4)
総人口	7,212人	(-14)
男	3,534人	(-5)
女	3,678人	(-9)

(3月中の異動)

出生	4人	転入	20人
死亡	8人	転出	30人

※この数字は外国人数も含めた数字です。